

原本

三重建資RC四試 5482 号
受付 2026年03月13日
報告 2026年03月24日

三重県四日市市大治田三丁目6番27号

三四興業 株式会社 殿

国土交通省中部地方整備局 認知

〒510-0834

三重県四日市市大治田三丁目2番40号

TEL 059-477-3706

FAX 059-477-3736

一般社団法人 三重県建設資材試験センター

四日市試験場

承認署名者 場長代理 中村 尚子

中村

試験報告書

2026年03月13日付けで依頼のあった骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)の持ち込み試料の試験結果は下記の通りでした。

1, 試料名 ※	川砂利 (25~5)
2, 産地 ※	内部川流域
3, 採取場所 ※	三四興業 株式会社
4, 採取日 ※	2026年03月13日
5, 試験項目	骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)
6, 試験実施期間	2026年03月23日 ~ 2026年03月24日
7, 判定結果	無害 ✓

(注)※印は依頼者申請事項

試験実施場所:一般社団法人 三重県建設資材試験センター 四日市試験場 分析室

この写しは原本に相違ありません。

2026年 3月24日

三重県四日市市ときわ1丁目2番40号

一般社団法人 三重県建設資材試験センター 全国生コンクリート工業組合連合会認定試験項目

四日市試験場

承認署名者 場長代理 中村 尚子 (1/2)

中村

適合

堤

1, 試験結果

試料	繰り返し	アルカリ濃度減少量 Rc (mmol/L)	溶解シリカ量 Sc (mmol/L)	
			吸光光度法	質量法
川砂利 (25~5)	1	84	22	----
	2	84	21	----
	3	85	22	----
	平均値	84	22	----

2, 試験方法

JIS A 1145 : 2022 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)による

備考 ; 吸光光度法で使用した測定機器 日立U-3900形分光光度計

3, 骨材のアルカリシリカ反応性の判定

骨材のアルカリシリカ反応性の判定は、測定項目における定量値の平均値を用いて行うものとし、次による。

a) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の範囲では、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満となる場合、その骨材を”無害”と判定し、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を”無害でない”と判定する。


b) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L未満で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の場合、その骨材を”無害”と判定する。

c) アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L以上の場合は判定しない。

以上

骨材のアルカリシリカ反応性試験

一般社団法人 三重県建設資材試験センター
四日市試験場

試験実施期間				2026年03月23日 ~ 2026年03月24日				1mol/L-NaOHのファクター： 1.002							
試験実施者				橋川 茉奈 				0.05mol/L-HClのファクター： 1.003							
骨材の 名称	繰り 返し	試料 量 (g)	反応 時間 (hr)	アルカリ濃度減少量【Rc】 (mmol/L)				溶解シリカ量【Sc】 (mmol/L)							判 定
				V1 (ml)	V2 (ml)	Rc	平均値	質 量 法			吸 光 光 度 法				
								W (g)	Sc	平均値	吸光度	A (mg/L)	Sc	平均値	
川砂利 (25~5)	1	25	24	20	18.13	84	84				0.180	3.054	22	22	無 害
	2	25	24	20	18.13	84					0.178	3.019	21		
	3	25	24	20	18.11	85					0.179	3.037	22		
	BLK		24	V3 = 19.81							n = 10				
	1														
	2														
	3														
	BLK			V3 =						n =					
	1														
	2														
	3														
	BLK			V3 =						n =					

(注)

$$Rc = \frac{20 \times 0.05 \times F}{V1} (V3 - V2) \times 1000$$

Rc = アルカリ濃度減少量(mmol/L)

F = 0.05mol/L塩酸標準液のファクター

V1 = JIS A 1145の8.2.1a)で希釈試料溶液からの分取量(ml)

V2 = 希釈試料溶液の滴定に要した0.05mol/L塩酸標準液の量(ml)

V3 = 希釈した空試験溶液の滴定に要した0.05mol/L塩酸標準液量(ml)

吸光光度法

$$Sc = 20 \times n \times A \times \frac{1}{28.09}$$

Sc = 溶解シリカ量(mmol/L)

n = 希釈倍率

A = 検量線から求めたシリカ量(Si mg/L)

使用した検量線

$$Si = y = 17.374x - 0.0733$$

質量法

$$Sc = 3330 \times W$$

Sc = 溶解シリカ量(mmol/L)

W = 空試験による補正を行った試料原液5ml中のシリカの質量(g)